

事業者向け 放課後等デイサービス評価表

R6年

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	1人当たりの床面積 2.47㎡で定員に対し、規定規模面積を満たしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	指導員5名、作業療法士1名(火)、音楽療法士1名(月)、児童発達管理責任者1名を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20%	0%	施設内は段差の少ない作りになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための計画・実行・評価・改善に、職員が参加しているか	100%	0%	0%	業務計画(BCP)を進める為の計画・実行をし、職員間で共有している。 令和6年度からは安全計画・感染症蔓延防止計画が義務化になっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	毎年1月に実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	くみちゃんランドホームページに3月頃掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	80%	20%	0%	(株)くみちゃんちのグループ内で他の事業所管理者が視察し、運営の様子、活動の様子を見に来て評価している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	グループ内でオンライン研修、または外部の方を呼んで講義を受けている。個人でも外部研修を受けている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子ども保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	子ども達の評価に当たり、6ヶ月に1回、計画を見直し、評価、課題設定など職員間で話し合っている。3月、10月(前期後期評価)4月(新規計画書作成)
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	アセスメントツールとして、「様子、本人の課題、目標」と分けて子ども達の様子を話し合い、記録している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	お迎え前に職員間でミーティングを行い、プログラム構成を話している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	季節ごとの制作や、子ども達の様子を見てプログラムを変更し、目的を持って行なうようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	学校がある日、学校が無い日(長期休みなど)では1日の流れを変

						えている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	子ども達の評価をして、個別や集団の取り組みの仕方や目的の評価、立案を計画書に反映している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	学校お迎え前のミーティングで、送迎の確認、子どもの様子、活動内容、職員の役割などを話し合っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	80%	20%	0%	職員の勤務時間によって、話し合える時と話し合えない時がある。次の日に振り返りを行なう場合もある。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	業務日誌に子ども一人一人の様子を記録している。また、次回に繋がるよう記録した上で計画を話し合っている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	6ヶ月に1回、支援計画書の前期、後期の評価を行ない、それぞれ評価に合わせて見直しの必要性を判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100%	0%	0%	生活能力向上、人とのコミュニケーション、社会性を子ども達の活動に取り入れて支援するよう心掛けている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が出席しているか	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者（渡邊）が出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	毎週に翌週の週日よりや、月便りを学校から直接お迎えの際に頂いている。また、当日下校時間の変更、車両などの注意事項などは電話または口頭で伝えて頂いている。
	㉒	家庭、教育、福祉とトライアングルプロジェクトの連携を意識して、情報共有など率先して行っているか	100%	0%	0%	家庭での様子、学校の様子を把握し、福祉の立場から情報を共有する事に努めている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	20%	0%	保育所、幼稚園へ情報共有を伺う事は難しいが、近隣の児童発達支援センターとの連携を心掛けている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0%	60%	40%	卒業後、高等部へ進学する子がほとんどの為、福祉サービス事業所への情報提供はしていない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	必要に応じて、児童発達支援センターとの連携に努め、助言などをして頂いている。また、狭山市では子ども部会があり、研修の機会を頂いている。

	②⑥	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	月に1度、狭山市の放課後デイサービスの協議会を設けている。
	②⑦	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	子どもの様子をノートやメール、電話などで情報共有をし、課題について共通理解を図っている。
	②⑧	保護者の対応力の向上を図る観点から、施設での支援方法を保護者に伝達しているか	100%	0%	0%	メール、ノート、電話でのやり取りがある中で、面談時に困りごとがあった際には、手だてがあるか検討し、伝達できるよう努めている。
保護者への説明責任など	②⑨	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約の際には説明をしている。また、新しい規定などは面談時や手紙でお伝えしている。
	③⑩	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	その都度、ノート、メール、電話、面談で保護者の方と話し合い、助言などできるよう心掛けている。
	③⑪	新型コロナウイルス感染症予防対策に対し、職員の体調管理、施設内の消毒など徹底しているか	100%	0%	0%	職員は、午前午後の体温管理、掃除では消毒をしている。必要に応じて室内の消毒を実施している。
	③⑫	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	苦情があった際には、職員間で話し合い、代表(樽澤)に報告し、以後苦情が無いように計画を立て実行できるよう対応する。また、保護者にも早急に対応できるように努めていく。
	③⑬	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%	0%	毎月のカレンダーを保護者の方に渡し、活動内容を周知している。
	③⑭	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	施錠できる保管庫に保管し、持ち出す際も外へは持ち出さないよう職員間で周知している。ケース会議などで持ち出す際は保護者の許可をとるようにしている。
	③⑮	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	ご家族の様子によって、振舞いや話し方など気をつけるよう心掛けている。
非常時などの対応	③⑯	事業所の行事に地域の方も呼んで、参加する形をとっているか	100%	0%	0%	年に1回、グループ(くみちゃんハウス)で地域の方も呼んでイベントを開催している。
	③⑰	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	職員には個人ファイルを設けて周知している。令和6年度より研修も増やしていく。
	③⑱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	毎年2回避難訓練を行なっている。令和6年度には感染症に対する訓練や災害に対する研修も行なっていく。
	③⑲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待防止の研修、身体拘束の研修など必要に応じて全職員が研修に参加し、対応に努めている。

④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	60%	0%	40%	身体拘束が必要な利用者さんはいないが、必要な際は、保護者の同意、計画書の記載をし、十分配慮して携わっていく。
④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の意見を元に対応がされているか	100%	0%	0%	食物アレルギーを持っている利用者さんへは契約時に確認し、摂取が無いよう職員間で周知している。
④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%	0%	使用できていない部分もあるが、ミーティングの際に職員間で共有している。